

2013年4月3日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

**ゴルフスイング診断用のモーションセンサ M-Tracer の公開実験を実施
-ヤマハレディースオープン(4月4日開幕)会場で選手と観客を対象-**

慶應義塾大学 SFC 研究所スポーツ・ダイナミクス・インフォマティクスラボとセイコーエプソン株式会社は、ゴルフスイング診断用のモーションセンサ「M-Tracer」を共同研究によって開発しました。

4月4日(木)から開幕するヤマハレディースオープンの会場において、選手および来場する観客に対して、「M-Tracer」の公開実験を行います。

見えない力を可視化する新たなツールにより、これにより得られた科学的知見にもとづいたトレーニング・コーチングを提供することが可能になります。最新の科学技術・情報技術によるスポーツデータの計測・分析手法を活用した新しい取り組みをぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

1. モーションセンサ「M-Tracer」について

「M-Tracer」は、セイコーエプソン社が培ってきた QMEMS 技術による世界最高性能のモーションセンサユニットであり、3軸加速度センサ・3軸ジャイロセンサを搭載して手首とゴルフシャフトに装着する事で、ゴルフヘッドの軌跡や姿勢を知る事に加えて、ゴルフファーがクラブにどのような力をどのようなタイミングで加えたのか、伝わったエネルギーはどの程度か、といった見えない力を可視化する新たなツールです。今後ゴルフ指導の場で活躍する事が期待されています。

2. ヤマハレディースオープン葛城 2013 における公開実験について

モーションセンサ「M-Tracer」を準備し、実際に選手や観客のみなさんに体験していただきます。

日時：4月4日(木)～7日(日)9:00～16:00

場所：葛城ゴルフ倶楽部山名コース

アクセス <http://yamahaladiesopenkatsuragi.com/2013/ticket/#access>

*ヤマハレディースオープン葛城 2013 についてはこちらをご覧ください。

<http://yamahaladiesopenkatsuragi.com/>

3. スポーツ・ダイナミクス・インフォマティクスラボについて

近年、スポーツにおけるデータの役割は益々重要視され、選手プロフィールをはじめ、トレーニング履歴や競技会における競技記録は日々蓄積され、コーチングや戦略づくりに活用されています。動きの定量化にもとづくバイオメカニクスのデータや、コンディショニングに関連する医学・生理学的データにおいても同様です。

本ラボでは、これらのスポーツデータを科学技術・情報技術を用いることにより、計測・分析手法および、スポーツデータの蓄積・可視化手法の開発を行っています。さらに競技スポーツのみならず、子供から高齢者、障害者を含めた市民スポーツまで幅広く、得られた科学的知見にもとづいたトレーニング・コーチングを提供し、スポーツの魅力を広めることを目指しています。

< 本事業担当教員 >

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 准教授 仰木裕嗣

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授 太田憲

< お問合せ先 >

慶應義塾大学 湘南藤沢研究支援センター 河越

電話：0466-49-3436 E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp

セイコーエプソン株式会社 センシングシステム事業部

電話：0266-61-2044

< 実施当日のお問合せ先 >

セイコーエプソン株式会社 小平(こだいら) 080-1336-7914

(公開実験実施時のみ利用可能)